

定し、東京経済研究センターの研究活動の核という性格が明瞭になりました。結果として、その後の展開は、東京経済研究センターの厳しい財政事情にも関わらず、東京大学の林文夫先生をはじめとする数名のプロジェクトリーダーのご尽力もあって、きわめて順調に進んでおります。大学横断的な東京経済研究センターの役割が明確になり、日本の経済研究における研究活動の活発化に貢献しているものと思っております。

ところで、財政的には、1999年までは1000万円を超える寄付金が主として銀行業界よりあり、それを原資としてTCERが運営されていきました。それが1999年より激減し、2000年には事実上消滅しました。しかしながら幸いにも、前代表理事の西村先生が経済同友会の水口専務理事（現経済研究所長）のご協力を得てTCERセミナーを立ち上げられ、TCERの財源の安定化に寄与しつつあります。このセミナーは経済同友会との共催の形で行われています。これはある意味で従来の東京経済研究センターの活動を拡大し、経済同友会に所属される経済界と経済学者との交流を通して経済政策に関する意見交換の場を提供し、日本経済のさらなる発展に寄与せんとする試みであると認識しております。このような企画を実現された前代表理事の貢献を大とすると同時に、同友会の水口経済研究所長にお礼を申し上げます。セミナーの講師には、無報酬で会員の皆様をお願いしておりますが、以上のような主旨ですので、今後ともよろしくお願い致します。今年度は副代表理事の西村先生と伊藤先生にTCERセミナー運営の責任者になっていただいております。このニュースレターでも、西村先生から会員の皆様にTCERセミナーの紹介をしていただくようお願いしております。

また、外部研究費導入について本年度は吉野直行先生を中心に行っていただくことになりました。このような訳で財政状態は小康状態を保っておりますが、今後安定的な財政を組むためには、安定した資金導入の道を探る必要があります。会員のご協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。（山崎昭）

(2) 2002年度理事紹介

2002年度の理事は以下のように決まりました。各理事のメールアドレスはTCERのサイトに掲載されております。（敬称略）

代表理事

山崎昭（一橋大学大学院経済学研究科）

代表理事代理、総務（ホームページ担当）

小川英治（一橋大学大学院商学研究科）

国際活動担当

木村福成（慶應義塾大学経済学部）

企画担当

樋口美雄（慶應義塾大学商学部）

総務担当

長岡貞男（一橋大学イノベーション研究センター）

国際活動担当

伊藤隆敏（東京大学先端科学技術研究センター）

会計、研究会担当

斉藤誠（一橋大学大学院経済学研究科）

渉外担当

西村清彦 (東京大学大学院経済学研究科)

総務(報告書担当)

玄田有史 (東京大学社会科学研究所)

総務(ニュースレター、名簿担当)

玉田康成 (慶應義塾大学経済学部)

(3) 2002年度総会報告

2002年度の総会は4月26日(金)6:30より東京大学経済学部新棟12階第一共同研究室にて行われました。平成13年度収支報告、平成14年度予算の提案、承認などが行われました。

2.TCER 研究会

2002年度のTCER定例研究会は一橋大学にて行われます。(敬称略。)

日時：2002年5月16日(木) 午後4:30-6:00

宮川栄一氏(コロンビア大学経済学部)

“The Relation between Implementability and the Core”

場所：一橋大学磯野研究館 2階 第2研究小集会室(Room215)

日時：2002年5月23日(木) 午後4:30-6:00

大野早苗(高千穂大学)

“Analysis on Interdependence of Stock and Foreign Exchange Markets,”

場所：一橋大学経済研究所 4階 会議室

日時：2002年6月11日(火) 午後4:20-5:50

Kaz Miyagiwa (Department of Economics, Emory University)

“Anti-dumping protectionism”

場所：一橋大学第2研究館2階217号室

日時：2002年6月25日(火) 午後4:20-6:00

中田善文・宮本大(同志社大学)

「NPO労働について：NPOはどのように雇用しているのか」

場所：一橋大学磯野研究館 2階 第2研究小集会室(Room215)

日時：2002年6月27日(木) 午後4:30-6:00

齋藤誠（一橋大学大学院経済学研究科教授）

"Limited participation and asset pricing"

場所：一橋大学磯野研究館 2階 第2研究小集会室 (Room215)

日時：2002年7月4日（木）午後4:30-6:00

Masao Ogaki (Ohio State University)

"Purchasing Power Parity in Structural Error Correction Models."

場所：一橋大学経済研究所 4階 会議室

3. 同友会セミナーの御紹介

通称「同友会セミナー」は、正式には、財団法人東京経済研究センター、社団法人経済同友会共催「TCERセミナー」と言い、三年前の2002年10月3日に第一回を開催してから昨年11日に第十九回を開催するまでに至っています。

同セミナーの沿革は、1999年に東京経済研究センターが、金融機関からの寄付金が時の金融危機のあおりをうけて激減し、それまでの年1千万円を越える水準から一挙にその十分の一以下に落ち込むという深刻な財政危機に陥ったことにはじまります。何もせず寄付金という他からの援助をあてにするのではなく自助努力でセミナーを運営し、それをテコに寄付金を集めるようにしたらどうかという、経済同友会の水口専務理事（現経済研究所長）のお勧めに従って、当時の代表理事であった西村がその前の代表理事であった伊藤隆敏財務省副財務官（現東大教授）の示唆を受けて企画、運営をはじめたものです。一年に原則として10回のセミナーを行い、時の政策課題に対応したトピックで東京経済研究センター側の講師が約40～50分の講演を行い、その後経済同友会側から数名がコメンテーターとしてパネル・ディスカッションをする、という形式で運営されています。参加者は1年間1口10万円の寄付をしていただくという形にしております。これは営利事業ではありませんで、あくまで寄付金という性格のものです。

一昨年の開始以来、水口専務理事（当時）のお心配りもあり、予想を上回る参加者と寄付金が集まり、東京経済研究センターの財政的危機の回避に大きな役割を果たすことができました。又、講師の先生方にはこのセミナーの趣旨をご理解いただきまして、無給（東京外からの講師の先生には交通費等必要経費のみ支給）という形をお願いしております。東京経済研究センターの関係の皆様には、このセミナーの講師をお願いすることになるかもしれません。その節にはどうかよろしくお願い申し上げます。

以上のように、このセミナーはいわば必要に迫られてはじめたものですが、その後順調に推移する中で、学者が政策提言を行ったり、実務の方との意見交換をしたりする貴重な場となっており、又経営者の立場からも、経済学からの分析が現実にもどのような含意をもっているかを知るといふこれまで存在しなかった重要なフォーラムであるという認識が広まっています。更には最近では経営者だけでなく、民間シンクタンクやマスコミ関係者の出席も見られるようになり、日本では極めて珍しい産学マスコミ共通の討論の場となりつつあります。こうした点を考え合わせますと、本セミナーは日本の経済学についても重要な発展の契機になるのではないかと期待しています。ご参考ま

で過去の19回のテーマと講師の方々のリストを添付いたします。

また、今年度からは伊藤隆敏先生にも加わっていただき、二人の副代表理事（伊藤、西村）で同セミナーを運営していきたいと思っております。しかしながら、こうしたセミナーの運営には多大な時間と労力がかかるのも事実で、特定の人々の無償の努力にいつまでも依存することは不可能です。そこで、新執行部そして東京経済研究センター研究員全体で、今後この貴重な政策討議の場（そして東京経済研究センターとしては貴重な fund raising の場）をどうするかを真剣に検討していただきたいと切望しています。（西村清彦）

過去の TCER（同友会）セミナー

第1回 TCER セミナー（2000年10月3日）

"知識社会において企業価値を高める戦略的人事"

第2回 TCER セミナー（2000年10月31日）

"わが国金融・資本市場に残された課題"

第3回 TCER セミナー（2000年12月7日）

"財政再建のプログラムをどうすべきか"

第4回 TCER セミナー（2001年1月10日）

"新春講演会"21世紀日本の課題と挑戦"

第5回 TCER セミナー（2001年2月28日）

"医療改革への道筋"

第6回 TCER セミナー（2001年3月28日）

"電波資源と周波数オークション"

第7回 TCER セミナー（2001年4月24日）

"年金改革の論点整理と道筋の選択"

第8回 TCER セミナー（2001年5月25日）

"「経済」統計の立場から見た経済「統計」の問題"

第9回 TCER セミナー（2001年6月22日）

"郵貯の行方と財政投融资のさらなる改革"

第10回 TCER セミナー（2001年9月26日）

"日本経済の現状と構造改革"

第 11 回 TCER セミナー (2001 年 10 月 23 日)

“日本経済の構造改革”

第 12 回 TCER セミナー (2001 年 11 月 22 日)

“わが国製造業の国際競争力：三位一体（製造現場・生産技術・開発設計）システムの視点から”

第 13 回 TCER セミナー (2001 年 12 月 12 日)

“都市の再生から日本の再生へ”

第 14 回 TCER セミナー (2002 年 1 月 17 日)

“2002 年日本経済の課題”

第 15 回 TCER セミナー (2002 年 2 月 22 日)

“地方交付税の改革・地方のやる気と責任をどう高めるか・”

第 16 回 TCER セミナー (2002 年 3 月 8 日)

“中国経済の現状と課題（仮題）”

第 18 回 TCER セミナー (2002 年 5 月 16 日)

“インフレ目標について考える”

第 19 回 TCER セミナー (2002 年 6 月 11 日)

“規制改革の現状とあるべき姿”

TCER セミナー 特別講演会 (2002 年 6 月 12 日)

“わが国における政策形成と非営利・独立シンクタンクの必要性について”

4 . TCER コンファレンス

(1) TCER プロジェクト (旧返子コンファレンス) の予定

通貨制度研究会 (代表：福田慎一・小川英治) の主催により、平成 14 年 7 月 26 日 (金) に台北のシェラトンホテルにおいて開催される予定です。

プログラムは以下を予定しております。

第 1 セッション 座長：伊藤隆敏 (東京大学)

9:30-10:45

“Shocking Aspects of East Asian Monetary Integration: An Optimum Currency Area Approach”

報告者：佐藤清隆 (国際東アジア研究センター)

コメンテーター：小川英治 (一橋大学)・橋本優子 (慶應義塾大学)

11:00 - 12:15

“ Pricing-to-Market in East Asian Manufacturing ”

報告者：武田史子（横浜市立大学）

コメンテーター：高阪章（大阪大学）・佐藤清隆（国際東アジア研究センター）

第2セッション 座長：小川英治（一橋大学）

13:30 - 14:15

“ Borrowing constraints, home bias in preference, and the effects of a yen depreciation on Asia ”

報告者：塩路悦朗（横浜国立大学）

コメンテーター：渋谷浩（小樽商科大学）・武田史子（横浜市立大学）

15:00 - 16:45

「アジア通貨危機とガバナンス構造」

報告者：花崎正晴（一橋大学）

コメンテーター：福田慎一（東京大学）

(2) CIRJE-TCER 第4回マクロコンファレンスの御案内 (CALL FOR PAPERS)

CIRJE と TCER が共催でマクロコンファレンスを開催します。9月28日（土）に京都市内にて行います。論文の応募については、TCER のホームページを御参考ください。

編集後記

2002年度1号目のニュースレターをお送りいたします。例年よりやや発行が遅れましたことをお詫び申し上げますと共に、お忙しい中、執筆下さった理事の方々に感謝申し上げます。皆様、よい夏をお過ごし下さい。

Newsletter に関するご意見やご感想は、代表理事 山崎昭または
総務理事 玉田康成 tamada@econ.keio.ac.jp までご連絡下さい。